

Chrysobothris samurai Obenberger 並に *Chrysobothris tsushimae* Obenberger 等に近似性を示してゐるが、然し之等が何れとも同一ではない。其他 *Chrysobothris manchurica* Arakawa, *Chrysobothris sinanensis* Kano, *Chrysobothris sinensis* Fairmaire とも明らかに異るし、*Chrysobothris succedanea* Saunders や *Chrysobothris affinis* (Fabricius) とは著しく異る。恐らくは新種名を附與せらる可きものと思ふが、是非比較せねばならないにも拘らず、文獻入手が目下不可能な爲に夫を爲し得ない。*Chrysobothris pulchripes* Fairmaire との比較研討が未済であり、傍々此種の種名決定には雌雄兩標本の具備も必要な事であるしするから、詳細は將來に期し度いと思ふ。

終りに當り之等の興味ある標本の採集者平尾經信氏に敬意を表し、同時に之が調査の機会を與へられたる江崎梯三教授及び安松京三學兄の御厚意に對し深謝の意を表する次第である。

滿洲國三江省の蟻數種

安 松 京 三

滿洲國三江省佳木斯農事試驗場の水田善助氏の御厚意により、同試驗場の圃場内に於て採集された蟻類の御惠送を受けた。それらは研究の結果次に記する 6 種を以つて代表されることが判明した。茲に滿洲國に於ける蟻類分布資料の 1 として次第を記録しておきたい。先づ水田善助氏に對し深謝の意を表する次第である。

1. *Camponotus japonicus* Mayr
2. *Formica rufibarbis* Fabricius
3. *Formica fusca picea* Nylander
4. *Lasius flavus* var. *myops* Forel
5. *Lasius niger alienus* Förster
6. *Myrmica scabrinodis ussuriensis* Kuznetzov-Ugamskij

以上の中 *Formica fusca picea* Nylander は舊大陸の北方に廣く分布するもので西はスウェーデン・フィンランドから東はカムチャツカに及んで居り、又アジアの中央部の高地やチベットには極めて多産する。日本では寺西氏が北海道から記録された。吉岡氏は群馬縣から記録されたが、これは誤りである由を同氏から御通知に接した。*Myrmica scabrinodis ussuriensis* Kuznetzov-Ugamskij は従來ウスリー地方の Nikolsk-Ussurijsk から知られて居た美しい蟻であるが、水田氏の御採集によつて滿洲國の三江省にも産することが判明した。